

れる開催の運営資金（約2千万円）の分担については更に検討することになった。

3) 学会春季大会の運営（第3回常任理事会議事録参照）

講演企画担当理事より、春季大会運営に関する常任理事会の議論が紹介された。

大会開催の引受けのため、気象庁・大学・研究機関等に所属する会員の分布を考慮して東京地区をいくつかの地域にブロック化し組織するとの考えの他、関東支部を設立し学会体制の整備を進め

るのがより適当との意見があり、数年後の実施をめどに更に検討を進めることになった。

9. 第30期評議員の選考

標記に関し、学会活動を深く把握し問題提起してもらえるよう、報道関係者、気象学会に関係の深い学会の関係者など、幅広い分野から候補者を探し、来年春の評議員会の開催を視野に、本年中に具体的な人選をする手はずで事務処理を進めることになった。



教員公募

千葉大学環境リモートセンシング研究センター教員公募要領

1. 公募人員：教授1名

2. 研究内容：植生環境の研究

[キーワード] 「群落の光合成と物質」, 「草地, 農地, 森林の生産及び生態系」, 「群落の環境応答」, 「地球規模での植物生産と環境」.

3. 着任時期：平成11年4月1日（予定）

4. 提出書類：応募を希望される方は、下記にご照会ください。

千葉大学環境リモートセンシング研究センター
事務室総務係

〒263-8522 千葉市稲毛区弥生町1-33

Tel. 043-290-3832

Fax. 043-290-3857

5. 公募締切日：平成11年1月22日（金）必着